

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年10月31日

新明和工業株式会社

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

2024年3月期 第2四半期 連結決算実績

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

(単位：百万円)

	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減 (増減率)
受注高	133,910	128,631	△5,278 (△3.9%)
売上高	104,001	116,464	+12,462 (+12.0%)
営業利益	3,206	4,431	+1,225 (+38.2%)
経常利益	4,168	4,858	+690 (+16.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,871	2,974	+102 (+3.6%)
受注残高	243,764	269,205	+25,441 (+10.4%)
為替レート (1USドル)	132.5円	140.3円	

前年同期比

受注高

- 「特装車」「産機・環境システム」セグメントが減少した結果、全体では減少。

売上高

- 「その他」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収。
- 2Qとしては過去最高。

利益

- 増収による増益。

2024年3月期 第2四半期 連結決算実績 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減
特装車	570	538	△32	437	482	+44	7	11	+3
パーキングシステム	206	236	+29	183	184	+0	11	14	+2
産機・環境システム	241	164	△76	154	196	+42	12	17	+5
流体	138	143	+4	87	92	+5	3	3	+0
航空機	98	119	+20	115	147	+31	7	10	+3
その他	82	84	+1	63	61	△1	3	2	△0
調整額	—	—	—	—	—	—	△13	△15	△2
合計	1,339	1,286	△52	1,040	1,164	+124	32	44	+12

連結貸借対照表

(単位：百万円)

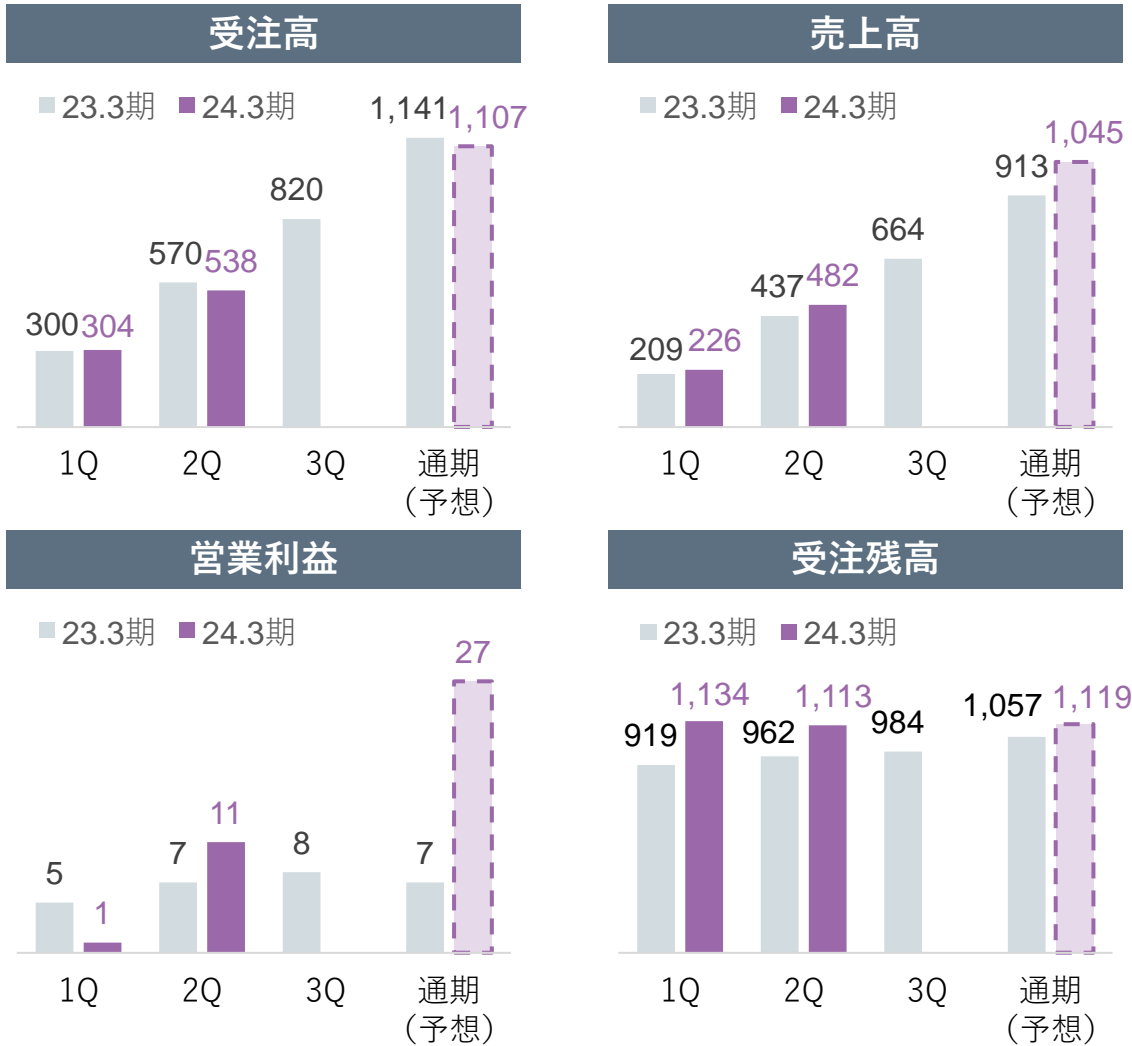
	23.3期末	24.3期 2Q末	増減
現預金	22,745	21,199	△1,546
売上債権	71,417	86,169	+ 14,751
棚卸資産	53,802	60,357	+ 6,555
有形・無形固定資産	45,191	45,198	+ 7
その他資産	33,749	35,722	+ 1,972
資産合計	226,907	248,647	+ 21,740
買入債務	27,310	30,699	+ 3,388
有利子負債	52,417	70,635	+ 18,218
その他負債	46,739	43,556	△3,183
負債合計	126,467	144,891	+ 18,423
自己資本	98,747	102,191	+ 3,444
その他純資産	1,692	1,564	△127
純資産合計	100,439	103,756	+ 3,316
負債・純資産合計	226,907	248,647	+ 21,740
自己資本比率	43.5%	41.1%	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△6,137	△14,676	△8,539
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,074	△3,028	+ 1,046
フリー・ キャッシュ・フロー	△10,211	△17,704	△7,492
財務活動による キャッシュ・フロー	△121	15,797	+ 15,919

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 林業用機械等の増加
- 建設関連車両、環境関連車両、トレーラの減少

売上高

- 建設関連車両、物流関連車両、環境関連車両の増加

営業利益

- 増収による増益 (価格改定効果含む)

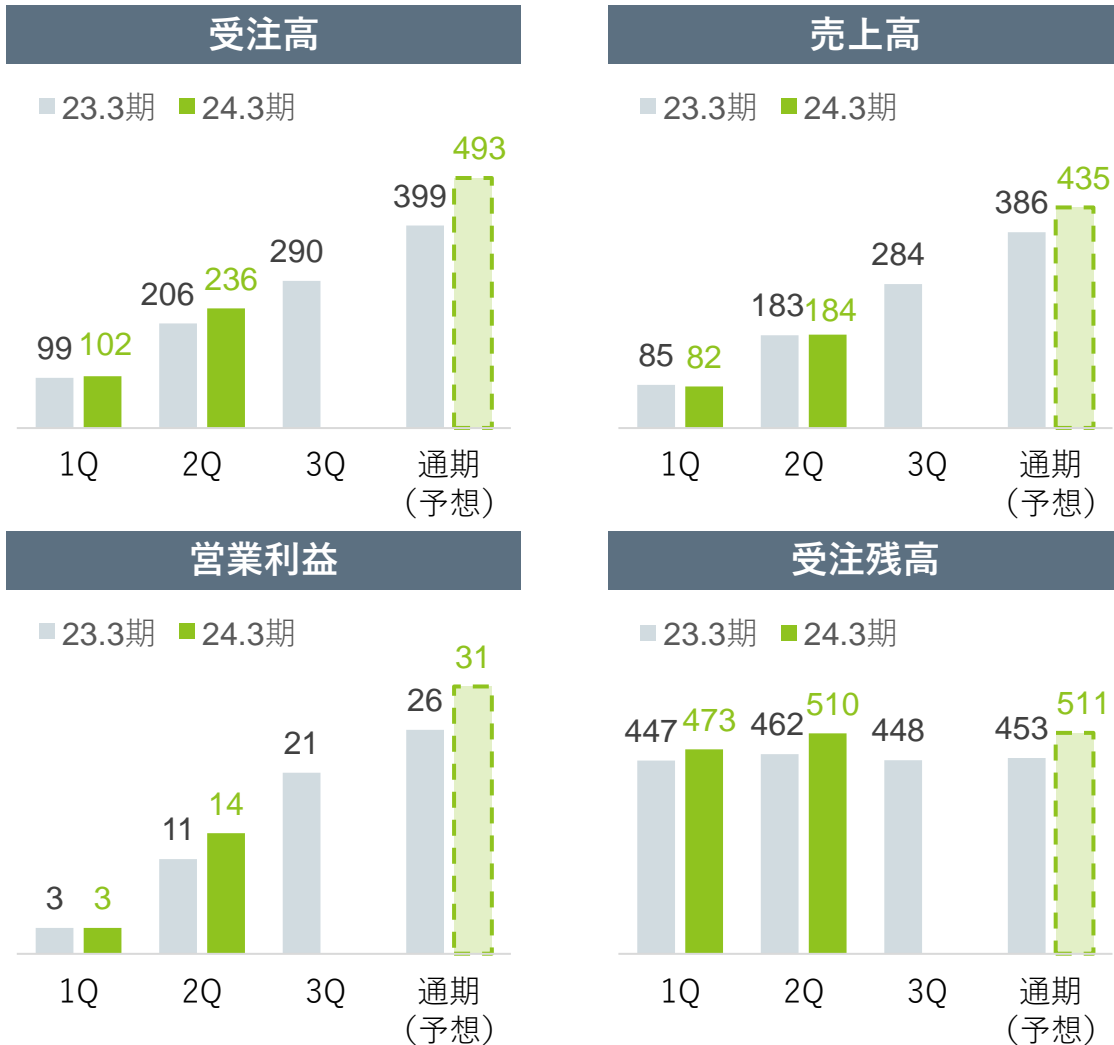
受注残高の手持月数推移

(単位：カ月) ※

23.3期				24.3期			
1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期 (予想)
11.9	12.6	13.0	13.9	12.7	12.8	-	12.9

※受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出 (1Q~3Qは通期業績予想を基準に算出)

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

機械式駐車設備：サービス事業の増加
航空旅客搭乗橋：海外の増加

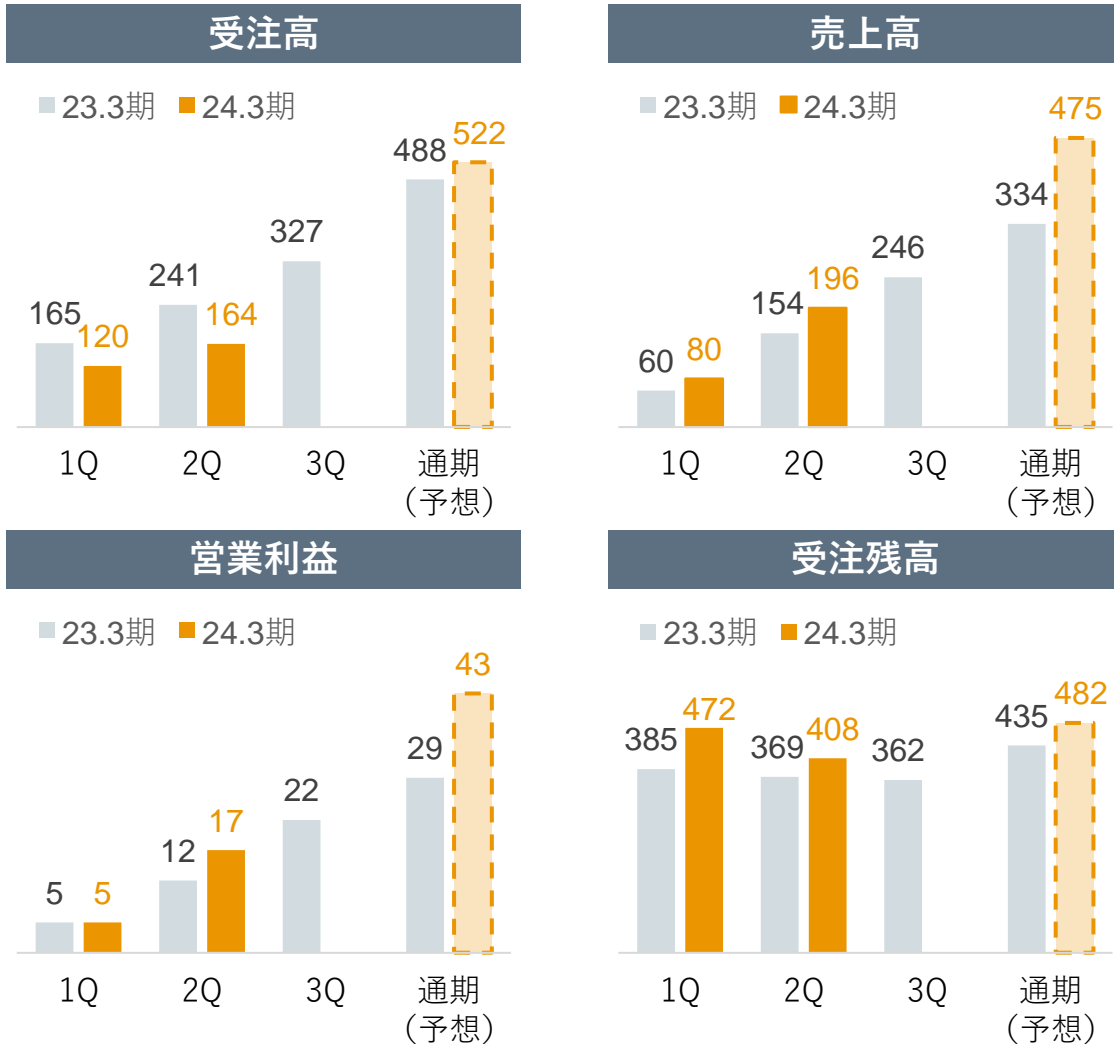
売上高

機械式駐車設備：製品の減少
サービス事業の増加
航空旅客搭乗橋：国内・海外の減少

営業利益

機械式駐車設備：サービス事業の増収による増益
航空旅客搭乗橋：減収による減益

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

メカトロニクス製品：真空製品の減少
環境関連事業：プラント案件の増加

売上高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
環境関連事業：プラント案件の増加

営業利益

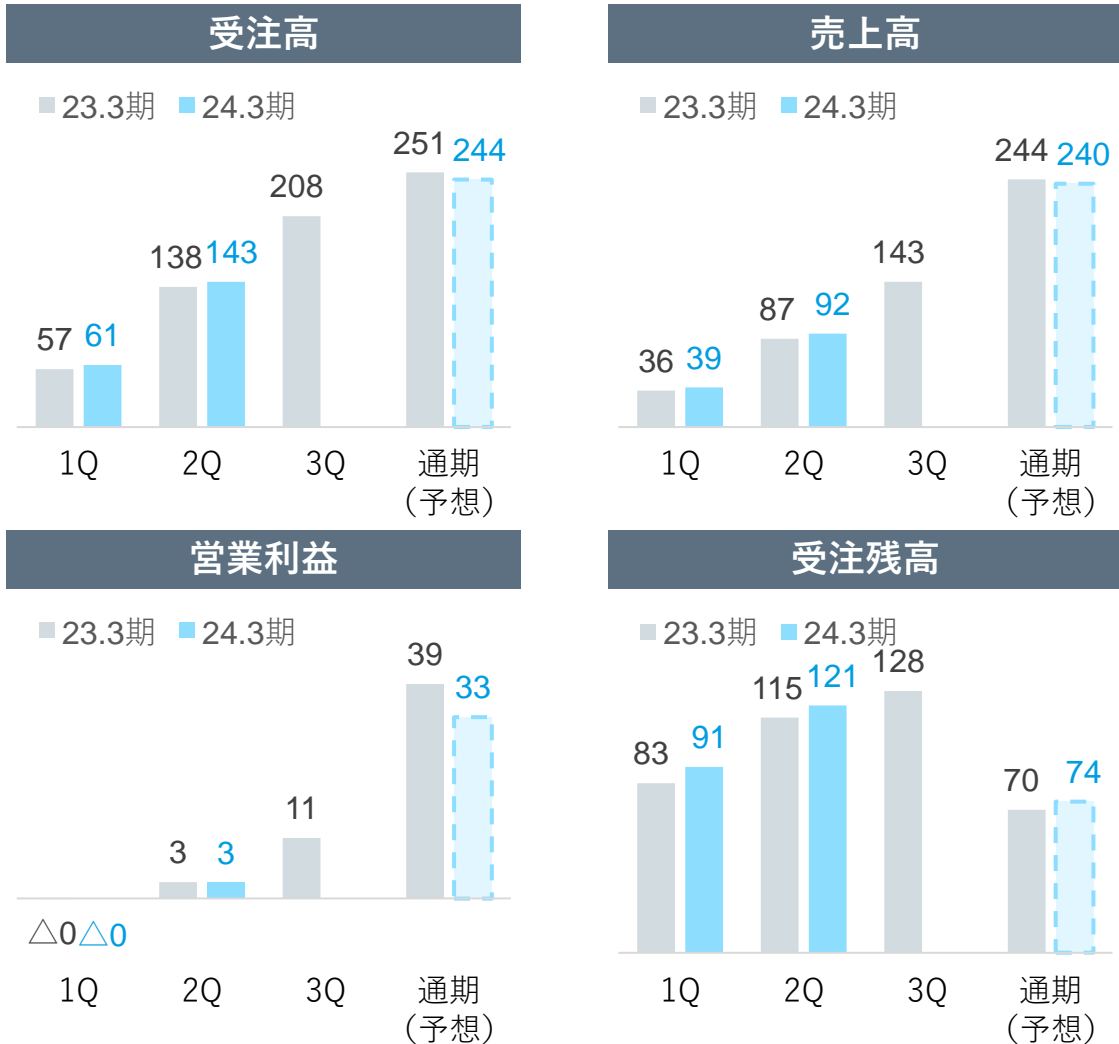
メカトロニクス製品：増収による増益
環境関連事業：増収による増益

サブセグメント別 受注高・売上高推移

(単位：億円)

サブセグメント	23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期 (予想)
メカトロニクス製品	受注高	125	163	197	341	41	69	258
	売上高	44	117	183	236	61	149	327
環境関連事業	受注高	39	77	130	146	78	95	264
	売上高	16	36	62	97	19	47	148

業績推移 (単位：億円)



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

- 需要が堅調に推移し増加

売上高

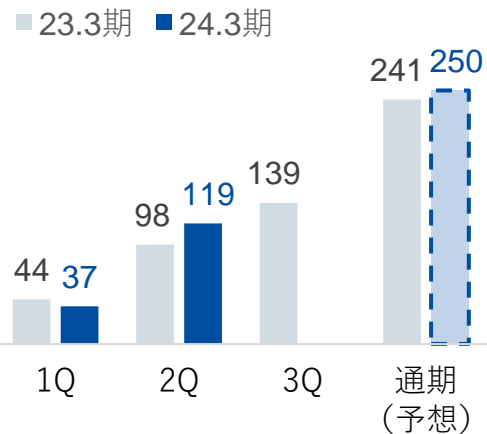
- システム製品の増加
- サービス事業の増加

営業利益

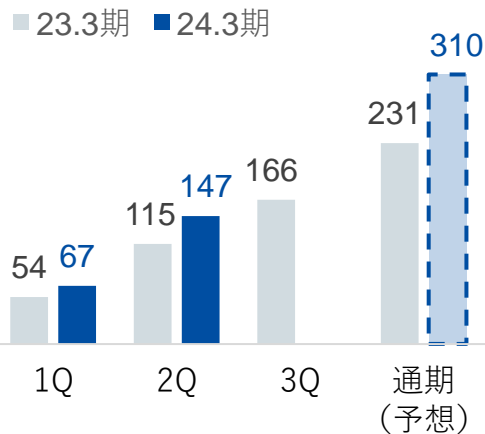
- 増収による増益

業績推移 (単位：億円)

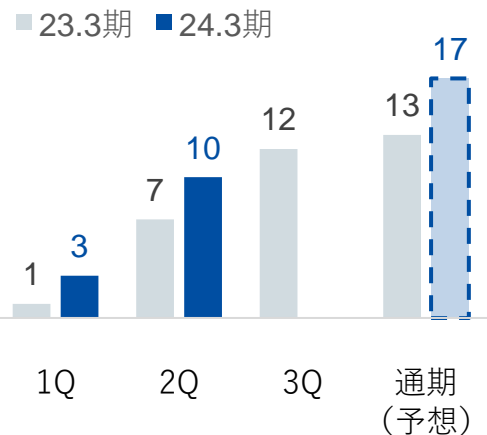
受注高



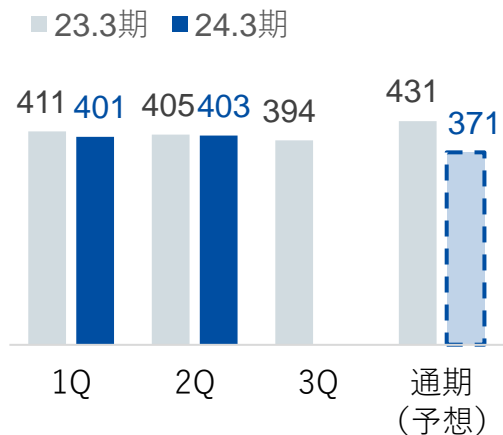
売上高



営業利益



受注残高



第2四半期実績 (前年同期比)

受注高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネント等の増加
 民需関連：「G7500」受注機数減少

売上高

防衛省向け：US-2型救難飛行艇 製造作業の増加
 民需関連：「777/777X」「787」生産機数増加
 為替の円安による増収

営業利益

増収および為替の円安等による増益

民需関連 生産機数

(単位：機)

	23.3期 2Q	24.3期 2Q
777/777X	14	17
787	11	15
G7500	21	18

為替感応度 (10月以降)

1円/USドルの円安進行で
 約0.4億円の営業利益増

2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期 連結業績予想 サマリー






(単位：百万円)

従来予想比

	23.3期 実績	24.3期 予想		増減 (増減率)			
		従来予想	修正予想	前期比		従来予想比	
受注高	267,159	271,000	275,000	+ 7,840	(+2.9%)	+ 4,000	(+1.5%)
売上高	225,175	270,000	265,000	+ 39,824	(+17.7%)	△5,000	(△1.9%)
営業利益	9,293	12,000	12,000	+ 2,706	(+29.1%)	—	(—)
経常利益	9,902	11,700	11,700	+ 1,797	(+18.2%)	—	(—)
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,313	7,300	7,300	△13	(△0.2%)	—	(—)
受注残高	255,859	256,859	265,859	+ 10,000	(+3.9%)	+ 9,000	(+3.5%)
1株当たり年間配当金	45円	45円	45円	—	—	—	—
配当性向	40.5%	40.6%	40.7%	+ 0.2pt	—	+ 0.1pt	—
為替レート (1USドル)	135.5円	130.0円	135.0円*	—	—	—	—

- 業績予想は従来予想から受注高を上方修正、売上高を下方修正。
- 利益は、従来予想から据え置き。ただし、営業利益についてはセグメント別内訳を見直し。(スライド14参照)

※ 修正予想の為替レートについては、10月以降の前提レートを表示しています。

セグメント	予想	事業環境（見通し）
特装车		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 主要部品調達遅れ等に伴う生産活動の停滞は回復傾向にあるものの、不確定な状況は続く。年明けに見込んでいた正常化は、更に長期化の見込み。 ➤ 鋼材価格の高止まり、加工費や物流費、エネルギー費等の運営費上昇が、コストアップ要因となる一方で、前期初に実施した一度目の価格改定効果は、増益要因として今期から本格的に顕在化。 ➤ 今期初から二度目の価格改定を実施。受注は堅調に推移しているが、期初時点で13カ月を超える受注残高を保有しており、本格的に売上に反映されるのは、来期以降となる見通し。
パーキングシステム		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 機械式駐車設備の製品需要は引き続き堅調。前期の減益要因となったサービス事業は回復し増収増益の見通し。なお半導体不足の本格的な回復は2024年度になる見通し。 ➤ 航空旅客搭乗橋は、コロナ禍で延期、中断していた案件が動き出し、市場は急速に回復していく見通し。
産機・環境システム		<ul style="list-style-type: none"> ➤ メカトロ事業は、線処理機は中国市場が不動産不況などにより不振となるも、北米市場は需要旺盛。真空乾燥装置はEV市場の成長と連動した車載二次電池関連設備の加速度的な投資の増加を背景に、売上規模は拡大する見込み。なお、真空乾燥装置における顧客の設備投資需要は、今期～来期がピークとなる予測。 ➤ 環境関連事業は、プラント案件の需要が堅調。これに伴うストック事業の増加もセグメント業績を下支え。
流体		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国内官需関連は、国土強靱化計画等による豪雨・浸水対策分野が引き続き伸長、下水処理施設の広域化・共同化、ストックマネジメント推進によるリニューアル&サービス分野が堅調に推移する見通し。 ➤ 国内民需関連は食品工場向けなど省エネ製品への関心が高く、ターボブロワを中心に需要増。海外関連は北米市場、東南アジア市場を中心に底堅く推移する見通し。
航空機		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 防衛省向けは、防衛省の方針のもと、今後の需要増に期待。今期は、主力製品であるUS-2型救難飛行艇の製造進捗等により売上は増加する見込み。 ➤ 民需関連も、ボーイング社向けの製品が回復基調により、前期と比べて生産機数は増加する見通し。

2024年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減
特装車	1,141	1,107	△34	913	1,045	+131	7	27	+19
パーキングシステム	399	493	+93	386	435	+48	26	31	+4
産機・環境システム	488	522	+33	334	475	+140	29	43	+13
流体	251	244	△7	244	240	△4	39	33	△6
航空機	241	250	+8	231	310	+78	13	17	+3
その他	149	134	△15	141	145	+3	7	5	△2
調整額	—	—	—	—	—	—	△30	△36	△5
合計	2,671	2,750	+78	2,251	2,650	+398	92	120	+27

2024年3月期 連結業績予想 セグメント別（従来予想比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	24.3期 （従来予想）	24.3期 （修正予想）	増減	24.3期 （従来予想）	24.3期 （修正予想）	増減	24.3期 （従来予想）	24.3期 （修正予想）	増減
特装車	1,079	1,107	+28	1,068	1,045	△23	29	27	△2
パーキングシステム	490	493	+3	436	435	△1	31	31	—
産機・環境システム	496	522	+26	475	475	—	37	43	+6
流体	242	244	+2	242	240	△2	33	33	—
航空機	270	250	△20	313	310	△3	17	17	—
その他	133	134	+1	166	145	△21	8	5	△3
調整額	—	—	—	—	—	—	△35	△36	△1
合計	2,710	2,750	+40	2,700	2,650	△50	120	120	—

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之 (いそがわ たつゆき)
従業員数	連結 6,128名 単体 3,144名 (2023年9月末現在)
連結子会社	29社

セグメント別 売上高 構成比 (23.3期)

航空機



その他

特装車



10%

6%

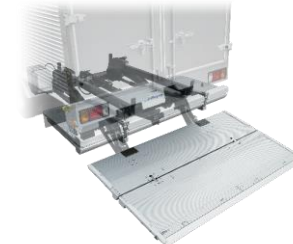
41%

流体



11%

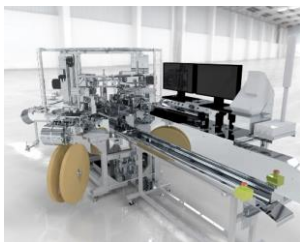
売上高合計
225,175百万円



産機・環境システム

15%

パーキングシステム



17%



(単位：億円)

	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
受注高	2,148	2,039	2,100	2,097	2,305	2,379	2,218	1,993	2,631	2,671
売上高	1,740	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272	2,092	2,168	2,251
営業利益	108	136	152	130	105	107	128	104	105	92
営業利益率 (%)	6.2	7.1	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9	4.1
経常利益	114	143	155	132	107	104	123	111	118	99
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	91	102	89	70	69	73	54	69	73
受注残高	1,072	1,187	1,245	1,327	1,561	1,773	1,719	1,616	2,103	2,558
海外売上高	360	456	481	430	425	428	432	271	310	463
有利子負債	60	41	20	1	0	498	575	545	522	524
自己資本	951	1,058	1,129	1,182	1,248	823	829	879	924	987
ROE (%)	8.1	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7	7.6
ROIC* (%)	6.8	8.3	9.1	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1	4.4

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

業績の推移 セグメント別①

(単位：百万円)

セグメント	項目	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
特装車	受注高	93,965	91,006	79,649	89,722	91,303	107,463	101,012	94,246	118,662	114,151
	売上高	77,328	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190	91,311
	営業利益	5,009	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354	707
	営業利益率 (%)	6.5	8.2	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5	0.8
パーキングシステム	受注高	32,292	29,805	30,674	31,561	55,017	35,797	36,275	37,332	38,133	39,901
	売上高	28,301	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099	38,627
	営業利益	899	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066	2,686
	営業利益率 (%)	3.2	4.8	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0	7.0
産機・環境システム	受注高	26,712	28,583	31,899	29,209	30,424	38,533	42,685	36,980	37,052	48,805
	売上高	24,371	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	25,560	33,425
	営業利益	2,037	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	1,724	2,923
	営業利益率 (%)	8.4	6.7	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	6.7	8.7

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

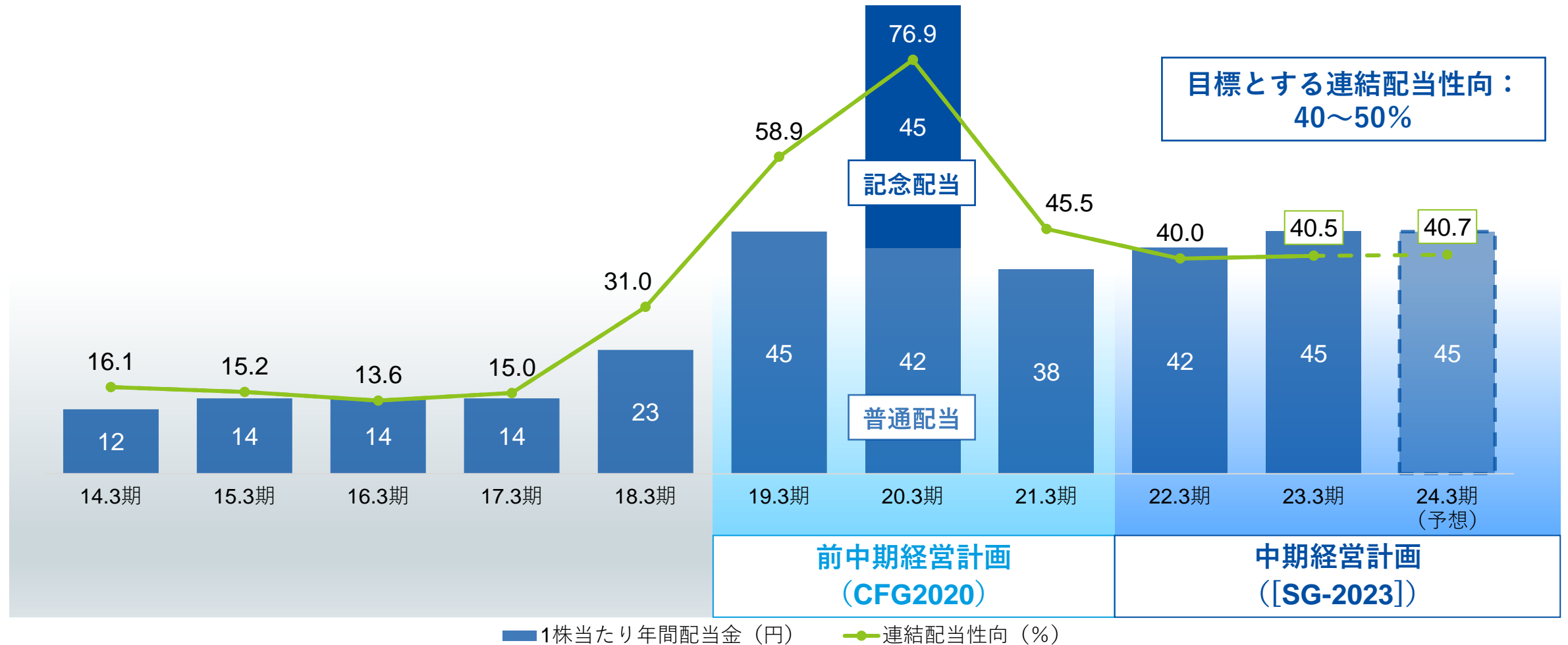
業績の推移 セグメント別②

(単位：百万円)

セグメント	項目	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
流体	受注高									22,130	25,165
	売上高									20,787	24,485
	営業利益									3,151	3,916
	営業利益率 (%)									15.2	16.0
航空機	受注高	52,556	44,068	55,502	43,741	40,803	35,772	30,393	13,378	31,711	24,187
	売上高	34,067	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137	23,136
	営業利益	4,665	5,263	6,546	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875	1,397
	営業利益率 (%)	13.7	12.8	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6	6.0
その他	受注高	9,338	10,505	12,340	15,498	13,005	20,336	11,511	17,371	15,472	14,945
	売上高	9,941	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047	14,188
	営業利益	318	439	796	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955	739
	営業利益率 (%)	3.2	3.7	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0	5.2

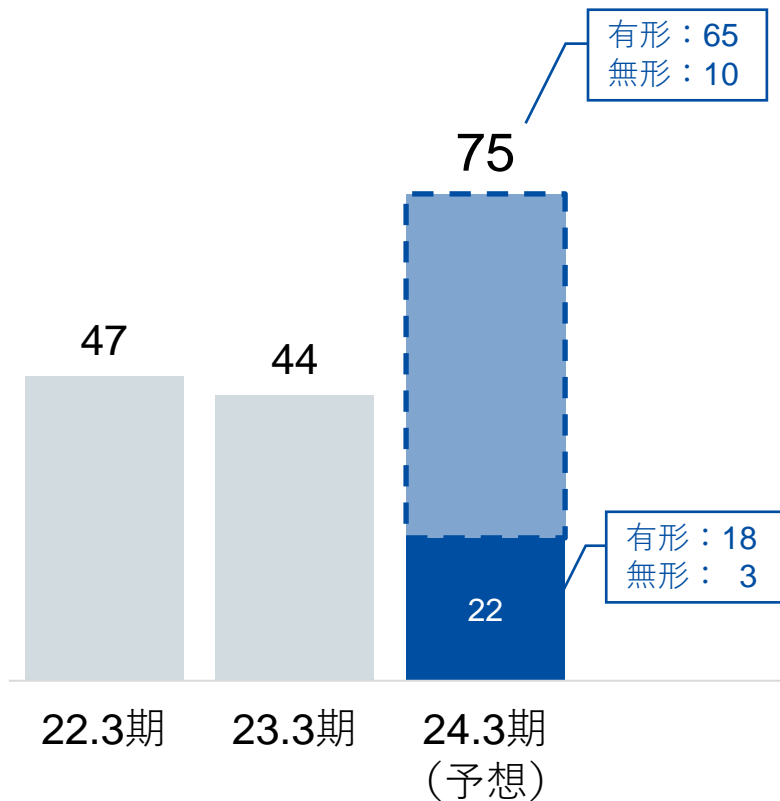
※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

1株当たり配当金と連結配当性向の推移



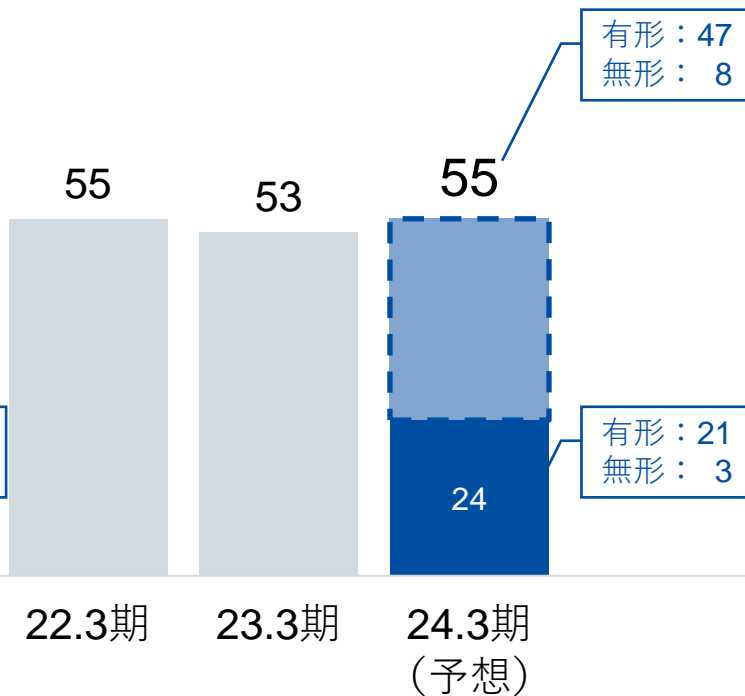
設備投資額 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績



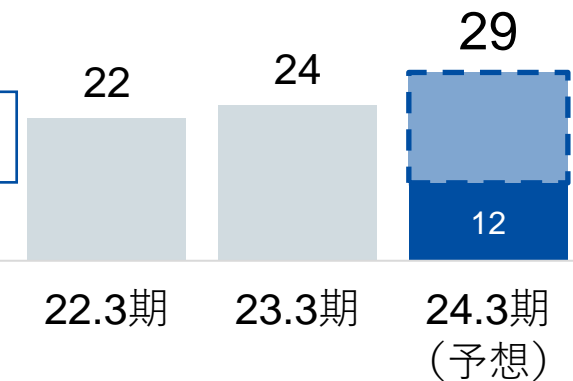
減価償却費 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績



研究開発費 (単位：億円)

※ 下段：2Q実績



海外売上高 セグメント別

(単位：億円)

	特装車			パーキングシステム			産機・環境システム			流体			航空機			その他			合計		
	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減	23.3期 2Q	24.3期 2Q	増減
日本	408	458	+50	167	173	+5	50	62	+12	59	67	+7	61	82	+20	63	61	△1	812	906	+93
アジア	10	8	△1	15	10	△4	59	36	△22	19	17	△2	-	-	-	-	-	-	104	73	△31
北米	0	-	△0	-	-	-	10	89	+79	4	4	△0	48	61	+13	-	-	-	63	155	+92
その他	17	14	△3	-	-	-	33	7	△26	2	3	+0	5	3	△1	-	-	-	59	29	△30
売上高合計	437	482	+44	183	184	+0	154	196	+42	87	92	+5	115	147	+31	63	61	△1	1,040	1,164	+124
海外売上高比率 (%)	6.5	4.8	△1.7 pt	8.3	5.8	△2.6 pt	67.1	68.0	+1.0 pt	31.3	27.5	△3.9 pt	46.3	44.3	△2.0 pt	0	0	-	21.9	22.2	+0.3 pt

2023年7月-2023年10月 ニュースリリース一覧

- 2023年7月 [読売新聞に記事が掲載されました（真空成膜・表面改質について）](#)
- 2023年7月 [譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ](#)
- 2023年7月 [日刊工業新聞に記事が掲載されました（水処理機器について）](#)
- 2023年8月 [ストックマネジメント支援機能を搭載した高機能マンポネット®（クラウド）を開発](#)
- 2023年8月 [世界初 チャンギ空港で航空旅客搭乗橋の遠隔操作による自律型完全自動運転（航空機機種選択レス）の実用化に成功](#)
- 2023年8月 [日刊工業新聞に記事が掲載されました（航空旅客搭乗橋について）](#)
- 2023年9月 [GVW20トン車級トラックミキサ車の新モデルを発売](#)
- 2023年9月 [公正取引委員会による立入検査について](#)
- 2023年9月 [かくのうゲート®のボルト架装対応オプションを発売](#)
- 2023年9月 [「浸水対策特集」サイトをオープンしました](#)
- 2023年9月 [水素燃料電池トラックに架装した塵芥車](#)
- 2023年9月 [「統合報告書 2023」を発行](#)
- 2023年10月 [当社と富士デザイン株式会社の共同研究対象「循環型炭素繊維織物コバトロン」が「2023年度 グッドデザイン賞」を受賞](#)



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら

当社は、投資家の皆さまに当社をより深くご理解いただくことを目的として、株式会社シェアードリサーチに投資に必要な情報を網羅した調査レポートの作成を依頼しております。

調査レポートは、企業分析と当社グループへの取材による情報を、投資家目線で中立かつ客観的に作成されており、決算発表やプレスリリース等に基づき、適宜更新されます。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7224>

当社事業の理解促進にお役立て下さい。



新明和ってどんな会社？

個人投資家の皆様へ >
主要事業をわかりやすくご紹介しています。

沿革 >
歴史映像や、創業100周年を記念して制作した歴史コミックをご覧ください。

研究開発 >
都市・輸送・環境インフラの高度化に取り組んでいます。

動画ライブラリー >
会社案内や製品を動画でご紹介しています。

Sustainability >
経営方針やESGに関する活動を報告しています。

ShinMaywa INSIGHT >
社会と暮らしをより安全、便利、スムーズに変えていく新明和グループの取り組みをご覧ください。

IR問い合わせ先

ディスクロージャー・ポリシー

免責事項

個人投資家の皆様へ >
新明和グループを、より知っていただける情報をご案内します。

企業と投資家をツナグ RIMSNET
IR情報 メール配信
配信のご登録はこちら

Shared Research
シェアードリサーチ社による当社の調査レポートはこちらをご覧ください。

当社の企業ニュースや財務活動をEメールでタイムリーにお知らせしています。

以下URLからアクセスできますので、ぜひご登録ください。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>



本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見直し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見直し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社